

大学入試対策

資料読解と記述

思考力養成ノート

はしがき

「不易流行」とは松尾芭蕉が説いたと言われる言葉である。不易は時代や人の変化に関わらず不変の価値を持つことであり、時代を反映し、新しさを求めて変化していくのが流行である。しかし俳諧は和歌と異なり新しきをもつて生命とする。常にその新しさを求めて変化を重ねていくことが本質なのである。

国語において書かれたことを説かれたことを正しく理解し、考えたこと思ったことを正確に表現することこそが本質であり、その価値はいつの時代も変わらない。誰もがグローバルと声高に述べるこの時代においても同様であり、グローバルであるからこそ思惟の根幹である国語の価値は一層たかまっていくなさずである。いかなる人間も言葉を用いずと思うことや考えをつみかさねていくことはできないからである。

近来、国語におけるもう一つの役割が強調されるようになってきた。それは今ある現実世界の変容に即した、より実践的なアプローチである。近年の入試ではそういった面が強調されてきた。確かに形式や素材はさまざまに変化する。俳諧が常に新しさを求めたように、国語もまた時代に応じた様々な表現や素材を用い変容していく。我々はそのテキスト資料を読み解いていかなければならない。そのために必要とされるのは読解力である。この読解力こそが本質であり、不易なのである。本質を読み取り的確に表現することしか方法はないのである。

本書において「流行」に相当する素材や形式は最新のものを取り入れ、近年の大学入試の新たな傾向に十分対応できると自負している。また解法においても従来積み重ねてきた本質的な読解と的確な表現を「不易」として本書を編んでいる。諸君が自らこの冊子を紐解き、「読解と記述」の力を身に付けることを期待する。

目次

基礎編 — 「資料読解」の特徴を知り、練習問題に取り組みよう

1	基礎練習	論理的な文章・実用的な文章の読み方	2
2	基礎練習	グラフ・図表の読み方（国語に関する世論調査）	4
3	例題 1	要項の読み方（市民マラソンへの参加）	6
4	基礎練習	記述式問題のマス目の使い方	8
5	例題 2	手紙の書き方	10
6	基礎練習	自己採点の方法	12
7	例題 3	自己採点練習をする（高校生による学会参加）	14

演習編 — 多様な資料を使った問題に挑戦しよう

8	実用的な文章 1	家族旅行を計画する	16
9	実用的な文章 2	地域の農産品と保護制度について	20
10	実用的な文章 3	河川敷でのバーベキュー有料化社会実験	24
11	実用的な文章 4	花粉症問題と木材の利用促進	28
12	実用的な文章 5	児童生徒の読書状況（二〇一八年岩手大人試改）	32
13	論理的な文章 1	佐藤卓己「デジタル時代にこそメディア史的思考を」	36
14	論理的な文章 2	杉田 敦「デモクラシーの論じ方」 生徒会選挙管理委員会の話し合い	40
15	論理的な文章 3	鬼頭秀一「自然保護を問いなおす」 プラスチックごみに関する二つの新聞記事	44
		自己評価・点数チェックシート	48